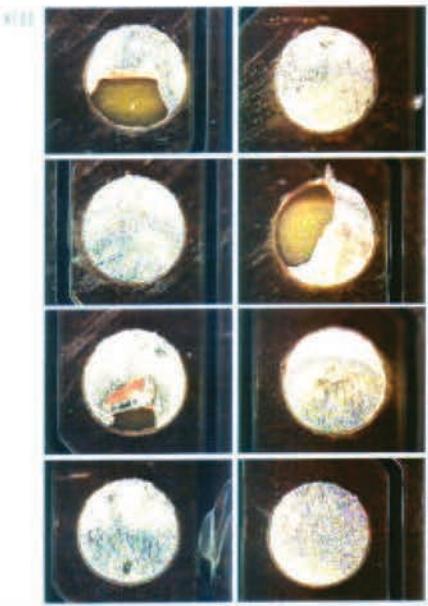


信頼性試験 - 引き剥がし試験

ボールシェアーテスト後表面観察



導体パターン引|き剥がし試験

導体パターンの引き剥がし強さは絶縁基板と導体パターンの接着強度を測定する試験である幅5mmの導体を、引っ張り試験機を使用し、一定の速度で引き剥がし、その時の強度を測定する。引き剥がし強度は接着している絶縁基板の材料、温度に依存するのでこれらを十分に考慮して試験する。

試験方法
導体の一端を約10mm絶縁基板から剥がし、試料を支持金具に取り付け、剥がした導体の先端をつかむ。試料の表面に垂直な方向に50mm/minの速さで25mm以上はがす。



ピール試験結果

図表片断：平均

名前	値
1 - 1	16,000
1 - 2	15,000

データ範囲項目：凸溝平均-割離、凸溝平均-割離、凸溝平均-割離、凸溝平均-割離

(データ) 平均	kgf/cm	kgf/cm	kgf/cm	kgf/cm
1 - 1	—	—	—	1,38514
1 - 2	1,35281	—	1,35381	1,38500
平均値	1,35281	—	1,35381	1,38502

CSP - プル強度測定

レジスト剥離試験方法

方法1 引っ張り試験 - 1

EZ-TESTを用いて50mm/mの速度で引張る。図1のようにレジスト上に鋼線を接着。

使用接着剤	結果
アロンアルファ（一般用）	強度 5.57 kg 接着剤での破だん
セメダイン #1000ゼリー状	硬化時の強度が弱く 測定にいたらざ
用途別接着剤 Scotch 3M	

方法2 引っ張り試験 - 2

EZ-TEST[®]を用いて50mm/m²の速度で引っ張る。
図2のようにレジスト上に針を接着。
接着面：約2mmの円
使用接着剤：アロンアルファ

方法3 セン断による試験

レジスト上にアクリル板をアロンアルファで接着する。⑨7%1)
サンプル1を図3のようにしてEZ-TESTを用いて
50mm/m inの速度で押す。

方法4 ピール強度